

3 協働事業実施状況（平成26年度）

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
1	国際交流に係る市民の参加促進 (市民自治推進課)	<p>例年実施 (平成20年度から継続実施)</p> <p>○外国人とのふれあいを通じて国際理解を深め、草の根による国際交流を推進する。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容等】</p> <p>○国際化推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぐる～りWorld交流会（在住外国人との交流会・年2回） ・国際交流サロンを通じた各種事業（通年） <p>【参加人数、関係団体等】</p> <p>ぐる～りWorld交流会参加者（2回合計186人） サロン利用者数（年間のべ1,065人） 国際交流ボランティアの登録者数（111人） 国際交流ボランティアによる協力（H26）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア講師による外国人対象日本語教室（10回/週） ・ホームステイ受入れ（12家庭） ・ブルームボール世界大会のボランティアスタッフ（約100人） ・通訳、翻訳の協力（5人） <p>【反響等】</p> <p>国際交流サロンの事業を始めとする国際交流事業を通じて、参加者がボランティアとして登録し協力を得ている。</p>
2	第3回苦小牧得するまちのゼミナール (まちづくり推進課)	<p>例年実施 (平成25年頃から継続実施)</p> <p>○まちゼミ事業を通し、市民にまちなかの商店街へ足を運んでいたくきっかけ作りを行うとともに、商店街関係者同士のコミュニケーションの場を創造し、商店街活性化の機運を高めることを目的とする。</p>	<p>【実施年月日、参加人数等】</p> <p>平成26年9月16日～平成26年10月26日（268人）</p> <p>【関係団体等】</p> <p>一般市民・商店街関係者・大学関係者等</p> <p>【反響等】</p> <p>参加者からは、新たなお店を訪れるきっかけとなったという声や、まちなかの商店街の頑張りを知ることができ、応援したい気持ちになった、という声が聞かれた。</p>

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
3	災害時要援護者支援 プラン (危機管理室)	<p>例年実施 (平成19年度から継続実施)</p> <p>○大規模災害時に自力では避難が困難な要援護者からの申出により事前に自主防災組織等支援者へ情報提供し、万が一災害が生じた場合に円滑に避難できるようにするため。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、参加人数、事業内容等】</p> <p>○「災害時要援護者の避難支援プラン」説明会 平成26年5月29日 (35名)</p> <p>【関係団体等】 旭町町内会、植苗町内会連合会、春日清水町内会、柏木町内会、汐見町町内会、しらかば中央町内会、澄川西町町内会、大成町公住町内会、高丘泉町内会、西町親交会、日新草笛町内会、日新中央町内会、沼ノ端拓勇西町町内会、拓勇東町町内会、日吉町町内会、北光町町内会、見山町東町内会 合計17町内会</p> <p>【反響等】</p>

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
4	地区別津波避難計画 (危機管理室)	<p>例年実施 (平成24年頃から継続実施)</p> <p>○津波浸水が予測される区域内の住民が津波被害から命を守るため、地区住民一人ひとりが意識を高め、お互いに助け合い、津波が到達するまでに安全な場所へ迅速に避難することを目的に「地区別津波避難計画」を作成する。 平成26年度をもって事業完了。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容、参加人数、関係団体等】</p> <p>○地域別津波避難計画の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26年 8月26日 (川沿町内会、澄川西町内会、ときわ町内会、のぞみ町内会、宮前町内会、 参加人数 21名 明德町1丁目町内会、もえぎ町町内会、美原町内会) ・平成26年 8月27日 (しらかば東、中央、西町内会、桜木町町内会、すずらん町内会) 参加人数 14名 ・平成26年 8月28日 (沼ノ端中央町内会、船見港北町内会、青雲町町内会、新中野町内会) 参加人数 9名 ・平成26年 9月19日 (新中野町内会、桜木町町内会) ・平成26年10月14日 (桜木町町内会) 参加人数 68名 参加人数 33名 ・平成26年 9月20日 (船見町北町内会) ・平成26年10月16日 (すずらん町内会) 参加人数 7日 参加人数 21名 ・平成26年 9月29日 (沼ノ端中央町内会) ・平成26年10月21日 (新中野町内会) 参加人数 21名 参加人数 14名 ・平成26年 9月30日 (川沿町町内会) ・平成26年10月25日 (船見町港北町内会、 参加人数 67名 参加人数 42名 川沿町町内会) ・平成26年10月 1日 (しらかば東、中央、西町内会) ・平成26年10月27日 (沼ノ端中央町内会) 参加人数 37名 参加人数 23名 ・平成26年10月 6日 (のぞみ町内会、美原町内会) ・平成26年11月 6日 (しらかば町東、中央、 参加人数 16名 参加人数 40名 西町内会) ・平成26年10月 8日 (青雲町内会、明德1丁目町内会、宮前町内会、もえぎ町町内会) 参加人数 25名 ・平成26年10月 9日 (ときわ町内会、澄川西町内会) 参加人数 22名 ・平成26年10月10日 (のぞみ町内会、美原町内会) 参加人数 23名 ・平成26年10月12日 (青雲町内会、明德町1丁目町内会、宮前町内会、もえぎ町町内会、 参加人数 39名 すずらん町内会) ・平成26年10月13日 (ときわ町内会、澄川西町内会) 参加人数 31名

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
5	「消費者月間」街頭啓発 (安全安心生活課)	例年実施 ○市と消費者団体、婦人団体との協働により、消費者被害防止の情報提供と市消費者センターの活用について街頭啓発により、消費者被害防止に対する意識の向上を図る。	【実施事業、実施年月日、事業内容等】 啓発資材（啓発リーフレットと絆創膏、ポケットティッシュ1,000部）の配布 （平成26年5月8日） 【参加人数、関係団体等】 苫小牧消費者協会 外4団体の協力 【反響等】 消費者被害防止に対する意識向上が図られた。
6	みんなの消費生活展 (安全安心生活課)	例年実施 (昭和54年頃から継続実施) ○消費者団体、市民団体等の出展により、暮らしに役立つ知識や情報を提供し、消費者意識の高揚を図る。	【実施事業、実施年月日、事業内容等】 平成26年11月15日・16日 【参加人数、関係団体等】 来場者数 2日間（516人） 苫小牧消費者協会 外15団体 ・ステージ参加を含む民間出展8団体 約60人 ・消費生活展併設の「福祉・消費者ふれあい市場」出店8福祉団体 約40人 【反響等】 出展した消費者団体等の取組を通じて、消費者意識の高揚が図られた。
7	男女平等参画に関する企業実態調査アンケート (男女平等参画課)	単年度（新規）実施 ○市内各事業所における男女平等参画についての意識や実態を調査し、その結果を今後の取組や施策推進に反映させる。	【実施事業、実施年月日、参加人数等】 平成26年10月10日 1,223事業所中、472事業所が回答 【関係団体等】 苫小牧商工会議所 【反響等】 男性と女性それぞれに特性があり、互いに気持ちよく働ける職場作りを取組みたい。業種や業態により男女がすべてにおいて平等であるとは思わない。男女の違いを理解した上で、制度を整備することが必要だと思う。

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
8	女性活躍促進講演会 (男女平等参画課)	単年度（新規）実施 ○職場における男女平等参画の推進のためにワークライフバランスを進め、企業の活性化、さらには市域経済の活性化につなげる。	<p>【実施事業、実施年月日、参加人数等】 平成27年2月10日（約300人）</p> <p>【関係団体等】 苫小牧商工会議所 苫小牧男女平等参画推進協議会</p> <p>【反響等】 参加型の講演会だったので分かりやすく、楽しく聞くことができた。現職年代の参加者が少なく残念、若い世代に聞いて欲しい内容だった。誰もが働きやすい社会になってほしい。家庭における男女平等に関する話も聞きたい。非常に参考になり、少し考え方が変わった。</p>
9	苫小牧市資源リサイクル団体連絡協議会 (減量対策課)	例年実施 (平成5年5月から継続実施) ○ごみの減量化及び資源の有効活用を目的に、市民と市の協働により集団回収が全市的な運動として促進することで、循環型社会の構築とまちづくりの推進を図る。	<p>【実施事業、実施年月日、参加人数、事業内容等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○資源回収登録団体243団体（平成27年3月末現在） 活動内容調査による状況把握 ○リサイクルニュース発行、ホームページ、 広報等による資源回収団体への情報提供（ニュース1月発行） ○資源リサイクル団体連絡協議会総会、役員会開催による情報交換、連携強化 （総会：7月8日、60名60団体、役員会7月2日） ○リサイクル施設の視察研修（10月10日） 研修先 明円工業株式会社環境資源部苫小牧工場、王子ネピア株式会社苫小牧工場 ○リサイクルハウス設置助成による支援（3団体） ・苫小牧市リサイクルハウス設置事業助成交付金要綱－H19年11月1日施行 ○資源回収団体奨励金制度による支援（前期分184団体） ・苫小牧市資源回収団体奨励金交付要綱－H20年4月1日施行 <p>【関係団体等】 町内会、老人クラブ、学校・PTA、同好会、各種団体等</p> <p>【反響等】 市民と市民団体と市の連携により、資源回収登録団体数・回収実績も向上しており、ごみの減量化及び資源の有効活用が図られ、循環型社会の構築、まちづくりの推進につながっている。</p>

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
10	苫小牧市エコストア 認定制度 (減量対策課)	例年実施 (平成20年頃から継続実施) ○環境に配慮している店舗をエコストアに認定し、広く市民に情報提供することにより、市民と店舗と市が連携してごみの減量化やリサイクル活動に取り組み、循環型社会の構築に向け、環境にやさしいライフスタイルを確立することで、まちづくりの推進を図る。	【実施事業、実施年月日、事業内容等】 ○エコストア認定店舗に対し、認定書及びプレートを交付、提示してもらうことで啓発を図る。 ○ホームページ等による市民への情報提供 【参加人数、関係団体等】 (エコストア認定登録29店舗名) イオン北海道(株)苫小牧店 ホームワークKOYO マックスバリュ有珠川 ホクレンショップ沼ノ端店 スパー苫小牧春日店 マックスバリュ澄川町店 ホクレンショップ苫小牧店 ヘリテージキムラ コープさっぽろステイ店 コープさっぽろ桜木店 コープさっぽろパセオ川沿店 コープさっぽろ栄町店 大師堂佛壇店 (有)ななかまど マックスバリュ新花園店 マックスバリュ支笏湖通り店 手づくりとお菓子「自家焼」があがあん (株)豊月フードD沼ノ端食彩館 (株)豊月フードDOASIS (株)豊月フードD双葉食彩館 (株)豊月フードD見山食彩館 (株)メガスポーツスポーツオーソリティー苫小牧店 エーコープトマコマイ店 ビッグハウス明德店 炭火・自家焙煎珈琲「えちおび屋」ビッグハウス光洋店 ビッグハウス明野店 コープさっぽろときわ店 フードD Vian 【反響等】 市民と店舗と市の連携によるリサイクル意識の向上及び環境負荷への低減等が図られ、循環型社会の構築、まちづくりの推進につながっている。

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
11	レジ袋削減に向けた取組 (減量対策課)	<p>例年実施 (平成20年頃から継続実施)</p> <p>○レジ袋削減に関する自主協定を締結し、三者一体となってレジ袋削減に向けた取組(レジ袋無料配布中止、マイバッグ持参運動等)を行うことで、ごみの減量化、限りある資源の有効活用やCO2発生抑制による環境負荷軽減・地球温暖化防止に向け、環境にやさしいライフスタイルを確立し、まちづくりの推進を図る。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、参加人数、事業内容等】</p> <p>○事業者に対するレジ袋削減率等活動内容調査による現況把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度実績(※26年実績は集計中) <ul style="list-style-type: none"> レジ通過客数 15,837,556人 レジ袋販売者数 13,861,928人 レジ袋辞退率 85.9% レジ袋削減枚数 15,145,016枚(重量約151t) <p>○ノーレジ・マイバッグ持参運動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ等による市民へのレジ袋削減の呼びかけや各店舗の取組などの情報提供、啓発用のぼり配布等活動支援 ・各種イベントでのレジ袋削減 ・マイバッグ持参運動PRキャンペーン実施 <p>【関係団体等】 (レジ袋削減に関する自主協定を締結)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苫小牧消費者協会 ・協定締結事業者(7事業者22店舗 平成27年3月現在) <ul style="list-style-type: none"> イオン北海道株式会社 生活協同組合コープさっぽろ 株式会社豊月 株式会社ホクレン商事 マックスバリュ北海道株式会社 株式会社メガスポーツ 株式会社ラルズ <p>【反響等】 市民と事業者と市の連携によりレジ袋有料化以降マイバッグ持参率も高い率で推移しており、ごみの減量・リサイクル推進及び環境負荷への低減等が図られ、循環型社会の構築、まちづくりの推進につながっている。</p>

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
12	「053 (ゼロごみ) の日」 (春・秋) (清掃事業課)	<p>例年実施 (昭和62年頃から継続実施)</p> <p>○清潔で住みよい町づくりのため自主的に清掃を行い、環境美化と清掃意識の高揚を目的とし、昭和62年度より「まちをきれいにする日」として実施。 春と秋の年に2回実施し、平成24年度より「053 (ゼロごみ) の日」と名称を改め、継続している。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容等】 平成26年 4月20日～ 5月20日 約18,488人 平成26年10月 1日～10月31日 約21,366人</p> <p>【参加人数、関係団体等】 町内会、自治会 (春13,440人、秋15,321人参加) 事業所 (春1,432人、秋1,559人参加) 学 校 (春2,706人、秋3,865人参加) 子供・老人クラブ等その他の参加団体 (春910人、秋621人参加)</p> <p>【反響等】 町ぐるみで清掃を行うことで、市民の環境美化意識が高まった。</p>
13	苫小牧市ステーションパトロール隊 (清掃事業課)	<p>例年実施 (平成25年から継続実施)</p> <p>○平成25年7月から開始する家庭ごみの有料化及び分別品目の拡大に伴い創設し、不適正排出の防止を目的とする。 適正なごみの排出方法の啓発や、排出状況の良くないごみステーションの調査を行う。 平成26年度末をもって廃止。平成27年度以降は新たな事業に移行する。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容等】 平成26年4月1日～平成27年3月31日 (参加した市民の人数 758人)</p> <p>【参加人数、関係団体等】 81町内会・自治会 町内会・自治会から選任された隊員人数、延べ758人</p> <p>【反響等】 適正なごみの排出について、市民の意識が高まった。</p>

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等												
14	苫小牧市環境基本計画推進会議による実施事業 (環境保全課)	<p>例年実施 (平成16年から継続実施)</p> <p>○環境基本計画を推進するために、市民、事業者及び団体、市の三者で構成し、市民の環境意識を高めるために、地球温暖化対策や自然環境保全などの事業の実施に向けて企画及び行動を行う。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容、参加人数等】</p> <p>○苫小牧の自然を守り隊！！(平成26年7月28日 18人) 枝払いや森の探検を通じての森を育てることなど、自然保護の大切さを学ぶ。</p> <p>○せせらぎスクール(平成26年8月5日 申込人数小学生以下22名(保護者12名)) 川の水生生物の採取、及び水質の状況を調査することにより、環境との関わり方を学ぶ。 【悪天候により中止】</p> <p>○環境エコ川柳コンクール(募集 平成26年8月1日～9月12日 応募数348作品) 地球温暖化や廃棄物などの環境の諸問題を川柳として、広く市民から作品を募集し、環境基本計画推進会議で審査の上、一般部門と中学生以下部門の入賞者を表彰。入賞作品は刊行物への掲載や各環境関連事業に利用する。</p> <p>○苫小牧市上下水道設備見学会(平成26年10月23日) 取水から排水までの過程を見学。苫小牧市の水資源の良さ、排水の在り方を再認識し、自然環境負荷の低減の在り方を考える機会とする。</p> <p>○エコ・クッキング教室(平成27年1月20日 13名・平成27年2月4日 19名) 発泡スチロールを活用し余熱を利用した調理法や、産廃となる「おから」を有効利用した料理を作り、環境に優しい省エネ料理法を学ぶ。</p>												
15	リーダー養成事業 (青少年課)	<p>例年実施</p> <p>○さまざまな体験活動から積極的に社会参加するたくましい青少年を育成する目的でリーダー養成事業を行っているが、本事業は苫小牧市子ども会育成連絡協議会の後援事業でもあり苫子連主催の各種事業もリーダー養成認定事業であることから、各種事業に参加することでポイントが得られ、リーダー認定を行う制度を協働で行っている。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容、参加人数等】</p> <table border="0"> <tr> <td>子ども会スポーツ交流会</td> <td>平成26年 6月28～29日</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>〃 交流会</td> <td>平成26年 9月 6日</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>〃 カルタ大会</td> <td>平成26年11月16日</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>子ども芸術祭</td> <td>平成26年 2月14～15日</td> <td>143人</td> </tr> </table> <p>【関係団体等】 苫小牧市子ども会育成連絡協議会</p> <p>【反響等】 子ども達の育成について、市が単独で事業を実施するより協働して計画及び実施することで子ども達に多くの学習機会の提供をすることができ、また、多様な意見を聴取することで更なる事業の発展に繋がっていると考えている。</p>	子ども会スポーツ交流会	平成26年 6月28～29日	25人	〃 交流会	平成26年 9月 6日	50人	〃 カルタ大会	平成26年11月16日	21人	子ども芸術祭	平成26年 2月14～15日	143人
子ども会スポーツ交流会	平成26年 6月28～29日	25人													
〃 交流会	平成26年 9月 6日	50人													
〃 カルタ大会	平成26年11月16日	21人													
子ども芸術祭	平成26年 2月14～15日	143人													

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
16	トマコマイクリーニング・サポーター制度による管理 (緑地公園課)	<p>例年実施 (平成14年度から継続実施)</p> <p>○住民等のボランティアにより道路や公園等の公共施設の清掃活動を行うことで、清潔で美しい街をつくる為。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容、参加人数等】 平成26年度 登録団体数 (32団体・3個人) 登録者数 1,752人 (うちパークゴルフ場維持管理を中心とした団体 13団体)</p> <p>【関係団体等】 同上</p> <p>【反響等】 地域内の道路や公園がきれいに保たれている。また、パークゴルフ場は、芝刈り等の作業をして頂いていることから、多くの利用者に喜ばれている。</p>
17	錦大沼公園内の錦大沼ハナショウブ園の維持管理 (緑地公園課)	<p>例年実施 (平成22年頃から継続実施)</p> <p>○錦大沼公園内の錦大沼ハナショウブ園において、はなしょうぶの会の会員と市職員と共に、草取りなどのハナショウブの維持管理作業を行い、経費削減と共にハナショウブ園の持続的な維持管理を行うことを目的としている。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容、参加人数等】 各年 平成26年7月16日 約20人</p> <p>【関係団体等】 はなしょうぶの会 〔・ 苫小牧ヤクルト販売(株) ・(有)アートスタジオNON ・マルゼン食品(株) ・(株)苫小牧中野自動車学校 ・北光印刷(株) ・(株)華紋 ・公益社団法人苫小牧地方法人会 一般社団法人苫小牧観光協会、苫小牧ロータリークラブ〕</p> <p>【反響等】 ハナショウブ園の維持費削減と、市民団体との協働作業によるPR。</p>

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
18	苦小牧市成人式の企画立案 (生涯学習課)	<p>例年実施</p> <p>○成人式の式典の企画立案や成人式当日の運営に参画することで、主体的に行動する苦小牧市民としての自覚を深め、今後の積極的な生涯学習活動への参加を促す。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容等】</p> <p>○成人式実行委員会</p> <p>第1回 平成26年 9月10日 第6回 平成26年11月19日 第2回 平成26年 9月26日 第7回 平成26年12月 3日 第3回 平成26年10月 8日 第8回 平成26年12月25日 第4回 平成26年10月22日 第9回 平成27年 1月 7日 第5回 平成26年11月 5日</p> <p>○リハーサル 平成27年 1月10日 ○式典 平成27年1月11日</p> <p>【参加人数】 8人(延べ 74人)</p> <p>【反響等】 活動を通じて、これからの地域を担う主体としての自覚を深めるとともに、地域で活動する団体や市に対する理解・信頼を深めた。 ※ 平成27年苦小牧市成人式 出席者 1,222人(対象者 1,513人) 出席率 80.77%</p>
19	障がい者IT学習支援事業 (生涯学習課)	<p>例年実施 (平成19年から継続実施)</p> <p>○行政とボランティア団体がパートナーシップ協定を結び、まちづくりに関する地域の目標や課題を共有し、相互の役割分担を明確にしなが、対等の関係で協力し合い、本市の生涯学習を推進する。</p>	<p>【実施事業、実施年月日、事業内容、参加人数等】</p> <p>○肢体障がい者パソコン教室 平成26年5月9日～平成26年12月12日 第2・4金曜日(計15回) 受講74人 ボランティア119人</p> <p>○視覚障がい者パソコン教室 平成26年5月21日～平成27年2月18日 第1・3水曜日(計15回) 受講79人 ボランティア93人</p> <p>【関係団体等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者パソコンボランティア友の会 ・身体障害者福祉連合会(視覚障害者協会・肢体障害者協会) ・パソコン教室受講者 <p>【反響等】 協働の過程を通じて、ボランティア団体の構成員である市民が地域の主体としての自覚を深め、市民相互又は市民及び市における理解と信頼が深まることできた。</p>

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
20	アーサー・ビナード 講演会 (中央図書館)	単年度(新規)実施 ○市民が講演を希望する講師に対し、図書館を含めた実行委員会が講演会を企画することで、学習機会を提供すると共に、合同の事前学習会を行う等、図書館事業に対する市民参画を促進するもの。	【実施事業、実施年月日、事業内容等】 平成26年5月23日 【参加人数、関係団体等】 イベント参加者 81人 ・アーサービナードを招く市民の会 【反響等】 実行委員会委員による口コミの周知効果により、通常、図書館を利用しない層の参加を得られた。また、盛況に対する達成感を実行委員・図書館間で共有することができた。
21	未来の図書館を考える (中央図書館)	単年度(新規)実施 ○将来的理想的な図書館像について、全国の先進地事例を参考に、図書館管理運営者と市民がヴィジョンを共有したいとの申し出を受け、協議機会を設けたものです。	【実施事業、実施年月日、事業内容等】 平成26年10月10日 【参加人数、関係団体等】 イベント参加者 20人 ・苫小牧図書館を考える会 【反響等】 図書館像について参加者と共有できたほか、実現に向けた現状課題について市民目線でのフランクな意見を伺うことができた。
22	POP制作ワークショップ (中央図書館)	単年度(新規)実施 ○学校図書館で活動するPTAボランティア、及び図書館担当教員に対し、本の紹介手法を紹介することで、各学校図書館の運営充実につなぎ、域内児童の読書推進に資することを目的とした。	【実施事業、実施年月日、事業内容等】 平成27年1月27日 【参加人数、関係団体等】 イベント参加者 38人 ・苫教研学校図書館研究部会 【反響等】 体験型の講習を通じて参加者がPOP制作スキルを身に着けることで、各校でのスキル発揮に期待できるほか、ボランティア・教員・図書館の3者が研修参加を通じて、ゆるやかな交流を図る機会となった。

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
23	朗読研修会 (中央図書館)	単年度（新規）実施 ○図書館の対面朗読サービスに協力いただいているボランティア団体に対し、研修機会を提供することで、サービスの質的向上を図り、ひいては市民サービスの向上を目指すもの。	【実施事業、実施年月日、事業内容等】 平成27年1月9日 【参加人数、関係団体等】 イベント参加者 15人 ・ 苫小牧市朗読赤十字奉仕団 【反響等】 確かな技術、及び知見を有する講師の指導を経て、参加者のモチベーションの向上につながった。
24	すぐ使えるわらべ唄・手あそび実践講座 (中央図書館)	単年度（新規）実施 ○市内で読み聞かせ活動を実施する団体・個人ボランティアに対し、活動援助の観点から、スキルの習得機会を提供するもの。	【実施事業、実施年月日、事業内容等】 平成26年11月4日 【参加人数、関係団体等】 イベント参加者 63人 ・ 苫小牧読み聞かせ文庫活動連絡会 【反響等】 事前に実際に活動する方々のテーマ、課題に関する要望をキャッチアップすることができ、ニーズに即した講師選定、事業運営を図ることができた。
25	本のばくりっこ市 (中央図書館)	例年実施 (平成22年から継続実施) ○図書館と図書館ボランティアグループ等が協力し、図書館に寄せられた本と市民の持ち寄る本を交換することで、本の再利用と図書館の利用促進を図る。	【実施事業、実施年月日、事業内容等】 平成26年7月27日 【参加人数、関係団体等】 ボランティア (13人) 参加者 (125人) ・ 図書館ボランティアグループ 【反響等】 図書館とボランティアグループが協力して実施することで、ボランティア間の親交を深める場にもなっている。交換参加の市民からも好評を得ており、図書館と市民の交流に役立っている。

No.	協働事業の名称 (担当課)	実施区分 協働事業の目的	実施事業内容等
26	朗読とギターの夕べ (中央図書館)	例年実施 (平成23年から継続実施) ○市内朗読サークルの協力を得ることで、図書館単体では提供できない芸術・文化鑑賞機会を提供すると共に団体に対しては活動の発表機会を提供するもの。	【実施事業、実施年月日、事業内容等】 平成26年7月26日 【参加人数、関係団体等】 参加者 (80人) ・朗読グループ花音 ・苫小牧東高等学校演劇部 【反響等】 目的に記載のとおり、図書館単体で実施するよりも質的充実をもって事業運営することができた。実施以降、協働団体による図書館を使った読書会企画が立ち上がる等、以降の良好な連携に接続している。
27	定例おはなし会おはなし広場 (中央図書館)	例年実施 (平成元年から継続実施) ○図書館ボランティア読み聞かせグループ等の協力を得て、子どもたちの読書活動の推進を図る。	【実施事業、実施年月日、事業内容等】 平成26年4月～平成27年3月まで 【参加人数、関係団体等】 ボランティア (222人) 参加者 (992人) ・図書館ボランティア読み聞かせグループ等 【反響等】 図書館と図書館ボランティア読み聞かせグループ等が協力して実施している。参加している市民からは、図書館を訪れるきっかけになると好評を得て継続している。
28	苫小牧市美術博物館 ボランティア運営登録事業 (美術博物館)	例年実施 (平成25年6月から継続実施) ○美術や博物事業に関する見識や熱意を有する方々の協力を得て、市民と協働した美術博物館活動を組織的に推進するため、ボランティア登録制度を導入し、館事業の円滑な運営を図るとともに必要な支援を行う。	【実施事業、実施年月日、事業内容、参加人数等】 平成26年4月1日～平成27年3月31日 (登録者 36名) ○各企画展の受付・案内・監視活動 773回の活動 ○ボランティア研修会・展示解説会等 7回の開催 (128名参加) 【反響等】 各展覧会において、受付・案内・監視活動を行ってもらうことにより入場者数カウント・チラシ等の配布・作品資料の保全といった業務が円滑に行える。 また、各展覧会の研修会や解説会を行うことで、美術博物館の業務内容を深く理解してもらう。